

授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ○ 問題意識を持たせる | ○ 自分との関わりで考えさせる |
| ○ 多面的・多角的に考えさせる | ○ 自己の生き方について考えさせる |

小学校2年生 A-(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任 「おれたものさし」のポイント

<ねらい> 良いことと悪いことを区別し、良いと思ったことは、小さなことでも遠慮しないで進んで行おうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に…

① <問題意識を持たせる>

- 教材と近い話を挙げ、友達が良くないことをしていても、なかなか注意できない状況を生活経験から想起させ、本時の課題に対する問題意識を持たせる

② <自分との関わりで考えさせる>

- 「ぼく」の心の葛藤をこれまでの自分の体験から感じたり、考えたりすることで自分との関わりで考えさせる。

(発問) ○みんながこのクラスにいたら、どうしますか。

③ <多面的・多角的に考えさせる>

- 良いと思ったことを行うときに支えとなる様々な気持ちについて考えさせる。

(中心的な発問) ◎「ぼく」はどうしてものさしを渡すことができたのでしょうか。

④ <自己の生き方について考えさせる>

⑤ <自分との関わりで考えさせる>

- 良いと思ったことを行うために大切なことについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方について考えを深めさせる。

展開

終末